

ウェルフェア イズ ラヴ💖

2025 年 10 月 30 日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ🌟）

先日の某新聞に、「治療と仕事の両立」についての記事が掲載されていました。

厚生労働省が 2023 年度に行った調査によると、「がんと診断された時に働いていた人の約 2 割が仕事を辞めていた。」とのことで、告知のショックで診断直後に離職してしまう（『びっくり離職』）ことも多いとの事です。

当事業所代表は、急な診断・告知に混乱して、「とても仕事なんて続けられない…」と考えてしまう気持ちも解らなくはありません。が、そんな時、「誰か」と十分に相談することが出来ていれば…。と思うのです。

勿論、担当医師であったり、職場の人事担当者や上司であったり、当事者に相談することが最も大切で必要なことですし、可能なら医療ソーシャルワーカーといったその道のプロに相談出来れば良いけれど、そういった当事者や専門職に相談することは、自身の気持ちがある程度固まった上で、自身が知りたい情報を自覚していて、それを得るための相談であれば有効なのだけれど、自身の気持ちが揺れている状態であれば、返って混乱が深まってしまう場合があるかもしれない…。

解決や前に進むための相談支援も大切だけれど、お相手の揺れや迷いに付き合う・寄り添う伴走型の相談支援も同じように大切と思います。当事業所もそんな伴走型の相談支援が出来るひとつの存在でありたいと願います。

💬 スタッフのヒトリゴト 💬

我が家が数年前から利用している某食品会社からの「ギフト商品のご案内」が先日届いた💖毎年、お中元とお歳暮の時期に年 2 回届くのだけど、「お中元時期はかなりお高めだけど、お歳暮時期は割とリーズナブルな商品も多い。」という印象でしょうか…。家族ともじっくり相談したいし、購入するかどうかはまだ決めていないけれど、こういったカタログを眺めている時間も気持ちがウキウキする、楽しい時間ですね♪

♡LOVE のラブラブな実践♡

インターネットを見ていると、困窮家庭（ひとり親、離婚前・別居中の実質ひとり親、心が不調な方がいる家庭、外国ルーツの世帯など）に対する SNS 相談支援を行っている団体の、利用家庭に対するアンケート調査の結果が目にとまりました。

その中で、「フードパントリー等のサービスを利用したいが、実施会場が遠く交通手段もなく、配達してもらうことも難しく利用できない。」「障害があり、役所に出向いて手続きすることが難しい。」「役所の開所時間が自身の勤務時間と重なり手続きに出向けない。」等の声が目にとまりました。

当事業所代表個人としては、「合理的配慮の時代でもあるのだから、配達や訪問等の個別対応をすれば良いのに…。」と思います。

ただ、もしもそういった対応を行うとなると、実施団体としても移動費や対応スタッフの人件費、時間外勤務手当等の出費が必要になるといったこともあるのでしょうか（当事業所も訪問相談はお受け致しますが交通費等は相談料とは別にお支払い頂くこととしていますしね）。また、行政からの委託事業であったり法定事業であったりする場合には、法規定等の問題で「出来ないこと」もあるのでしょうか…。

当事業所はそういった縛りがイヤなので、あえて法定事業ではない、個人事業というスタイルで開設しております。その利点を生かした、「クライアントの求めに応える柔軟な相談支援」を行っていきたく強く思います。

県内の福祉イベント案内 他♪

11月15日（土）の13：00～16：00、高松市の瓦町フラッグにて、香川県ひきこもり地域支援センター アンダンテ主催のフェスティバル『あんだんて祭』が開催されます（参加無料）。当事者兼ひきこもりサポーターの方々によるトークショー「語ろう！教えて！ひきこもりから回復するきっかけって？」やワークショップ（キッチンペーパーを使ったお花作り）、展示コーナーやミニ相談コーナー等の催しを予定されているようです。お祭りなので、申込等は不要と思いますが、詳しく知りたい方や気がかりなことがある方は、は香川県ひきこもり地域支援センター アンダンテ（電話：087-804-5115）までお問い合わせ下さいませ。

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♡